

外面ヲ装ヘルモ天意ニ協ハス君父ニ對
シテ忠孝トナラス世間ニ向ヒ仁愛トナ
ラス信義トナラサルナリ

善ヲ好ミ惡ヲ惡ムハ人性ノ自然ニ出ツ
而シテ善ニ福ニ淫ニ禍スルハ天道ノ常
ナリサレハ勸善懲惡ノ教規ニ服シ身ノ
爲メ國ノ爲メ禍ヲ避ケ福ヲ求ムルハ人
々須臾モ怠ルヘカラサル務ナリ故ニ何
ノ教規ニ服スルヲ問ハス苟モ帝國ヲ愛
護シ帝室ニ忠順ヲ致サント誓フ者ハ皆

皇國ノ善良ナル臣民ナリ

今日皇國ノ臣民タルモノハ忠君愛國ノ
義ヲ拳々服膺シ仁愛信義ノ道ヲ念々忘
ルヘカラス智徳并々長シ品行完全ナル
人民トナリ國ノ品位ヲ上進セシメ外人
ヲシテ望ンテ畏敬セシムルコトヲ期ス
ヘシ

獨立ノ良民トナリ團體上ヨリ富強ノ國
タルコトヲ期シ艱難辛苦ヲ忍ビ以テ一
身一家及ヒ社會ノ福祉ヲ造ルヘシ是レ

即チ人々自己ノ任ナリ決シテ他人ニ委
ヌヘカラス

國ノ強弱ハ人民ノ品行ニ係ルコトナレ
ハ今日萬國對峙ノ世ニ在リテハ人民各
自ニ忠信ヲ主トシ禮義ヲ重ンシ勤儉ヲ
務メ剛勇忍耐ノ氣象ヲ養ヒ尊貴ナル品
行ヲ植主スルコトヲ要ス而シテ輕薄怠
惰詐僞驕佚等ノ惡行ノ萌芽ヲ發生セシ
メサルコトヲ務ムヘシ然ラサレハ是レ
國ヲ衰弱ニ陷イレ萬國ニ對峙スルコト

能ハサルノミカ長ク強者ノ餌トナリ獨
立ノ良民トナルコト能ハサルヘシ深ク
畏レ痛ク誠メサルヘケンヤ

此按察棄草
御参考ニ供ス

忠孝ノ二者ハ人倫ノ大本ナリ殊ニ皇國
ニ生ル、者ハ萬世一系ノ帝室ニ對シ常
ニ忠順ノ心ヲ以テ各、ソノ職分ヲ盡シ自
己ノ良心ニ愧チサルコトヲ務ムヘキナ
リ
父ハ子ノ天ナリ君ハ臣ノ天ナリ臣子ニ
シテ若シ君父ニ對シ不忠不孝ナレハ罪
ヲ天ニ得テ逃ルヘカラスサレハ又忠孝
ヲ盡ストキハ自ラ天心ニ合ヒ福祉ヲ得

※複写本は、国会図書館憲政資料室所蔵『元田永孚関係文書』の資料番号173 (本論文序章を参照)。

(德育の大意)

中村正直案

忠孝ノ二者ハ、人倫ノ大本ナリ、殊ニ皇
 國ニ生^(忠愛)ルモ、ハ萬世一系ノ^(別行)帝室ニ
 對シ、常ニ忠順ノ心ヲ以テ各ミソ、職分
 ヲ盡シ、自己ノ良心ニ愧^(レ)チサルコトヲ
 努ムヘキナリ、
 父ハ子ノ天ナリ、君ハ臣ノ天ナリ、臣子
 ニシテ若シ君父ニ對シ不忠不孝ナレ
 ハ、罪ヲ天ニ得テ逃ルヘカラス、サレハ
 又忠孝ヲ盡ストキハ自^(或は)ラ天心ニ合ヒ
 福祉ヲ得ルノ道ナリ、^(不幸ニシテ)忠孝
 ノ^(萬古に)爲メニ禍害ヲ蒙ルコトアルモ、美名
 ハ自然ト萬方ニ傳ハリテ長ク朽^(朽チ)テ

後世子孫必ス其ノ餘慶ヲ受クヘキナ
敬天敬神ノ心ハ人々固有ノ性ヨリ生
ス、恰モ耳目ノ官ニ視聽ノ性アルカ如
ク、又木理石紋ノ如ク、愈刮リ去レハ愈
顯ハレ出ツ、斯ノ心君父ニ對シテハ忠
孝トナリ、社會ニ向ヘハ仁愛トナリ、信
義トナル、即チ萬善ノ本源ナリ、教育ノ
根元ナリ、深夜暗室ノ中ニ生スル一念
ハ、ソノ善ソノ惡皆天地神明ノ照臨ス
ル所ニシテ、青天白日公衆ノ前ニ發現
シテ掩フヘカラズ、天人一致、内外洞徹、

顯微間ナシ、神人ノ間感應影響ヨリモ捷カナリ、人々其ノ獨ヲ慎ミ之ヲ畏レ

サルヘケンヤ、

吾カ心ハ神ノ舍スル所ニシテ天ト通

スル^(もの)ナリ、天ヲ敬シ神ヲ敬セシハ先

ツ吾カ^(心ヲ)清淨純正ニセサルヘカラ

ス、苟モ吾カ心清淨純正ナラサルトキ

ハ、イカニ外面ヲ装ヘルモ天意ニ協ハ

ス、君父ニ對シテ忠孝トナラス、世間ニ

向ヒ仁愛トナラス、信義トナラサルナ

リ、

善ヲ好ミ惡ヲ惡ムハ人性ノ自然ニ出

ツ、而シテ善ニ福ミ、淫ニ禍スルハ天道
 ノ常ナリ、サレハ勸善懲惡ノ教規ニ服
 シ、身ノ爲メ國ノ爲メ禍ヲ避ケ福ヲ求
 ムルハ人々須臾モ怠ルヘカラサル務
 ナリ、故ニ何ノ教規ニ服スルヲ問ハス
 苟モ帝國ヲ愛護シ帝室ニ忠順ヲ致サ
 ント誓フモノハ皆皇國ノ善良ナル臣
 民ナリ、
(立憲政體の下に立つ)
 今日皇國ハ臣民タルハ(益々)忠君愛國
 ノ義ヲ拳々服膺シ、仁愛信義ノ道ヲ念
 々忘ルヘカラス、智徳并ヒ長シ品行完
(善)
 全ナル人民トナリ、國ノ品位ヲ上進セ

(果れんことを)

シ、外人ヲシテ望テ畏敬セシムルコ

ト造ラ期スヘシ

獨立ノ良民トナリ、團體上ヨリ富強ノ

國タルコトヲ期シ、(各自其本分たる職業を勉む)艱難辛苦ヲ忍ビ以

テ一身一家及ヒ社會ノ福祉ヲ造ルヘ

シ、是レ即チ人々自己ノ任ナリ、決シテ

他人ニ委スヘカラス、

國ノ強弱ハ人民(林立し、優勝劣敗あり)ニ係ルコトナ

レハ、今日萬國對峙ノ世ニ在リテハ、人

民各自ニ忠臣ヲ主トシ、禮義ヲ重ンシ、

勤儉ヲ務メ、剛勇忍耐ノ氣象ヲ養ヒ、尊

貴ナル品行ヲ植立スルコトヲ要ス、而

シテ輕薄急情詐偽驕佚等ノ惡行（以下）
深ク戒ム萌
（是皆國を以て衰弱をうしむるものなり）
 然ラサレハ是レ國ヲ衰弱ニ陷イレ萬
 國ニ對峙スルコト能ハサルノミカ長
 ク強者ノ餌トナリ、獨立ノ良民トナル
 コト能ハサルヘシ、深ク畏レ痛ク誠メ
 サルヘケンヤ、

力一策

徳育の大旨

忠孝の二者ハ人倫の大本ナリ殊ハ
皇國ハ生る者ハ萬世一系の

帝室ハ對シ忠愛の心を以て各その
職分を盡し自己の良心ハ愧さるを務
むべきなり

父ハ子の天なり君ハ臣の天なり臣子
ありて若し君父ハ對シ不忠不孝なれば
罪を天ハ得て逃るるべからず又忠孝
を盡さざるハ自ら天心ハ合ハ福祉即得

るの道やも、或は忠孝の爲に禍害を蒙る
るときは美名萬古に傳へ朽ちて了
敬神の心は人、固有の性より生れ、恰も
耳目の官は視聽の性阿との如く、又木理
石紋の如く、愈に刮る去る愈に顯り、れ
出づる敬神の心よも、君父に對しては
忠孝となり、社會に向ふに仁愛となり、
信義となり、即ち萬善の源なりとも
深夜暗室の中は生ずる一念は、その善
の惡皆天地神明の照臨する所なりと

青天白日公衆の前ハ發現して
掩ふことん天人一致内外洞徹顯微
間あり神人の間感應影響者より捷
あり、慎み畏まざる者んや

吾が心ハ神の寓する所なりて天と通ず
るものなり、天を敬し神を敬せんハ、
吾が心を清淨純正みせざるべからず

立憲政體の下ニ立ち今日皇國の臣民
たるものハ、益々忠君愛國の義を拳々服
膺すべきハ勿論なり、智徳並び長じ、品

行完善なる人民となり、國の品位を上進
せしめ、外人強いて望んで畏れむるを
期せしむ

自治の良民となり、團體上より富強の
國となり、各自其本分なる職業を
勉め、艱難辛苦を忍び、以て一身一家
及び社會の福祉を造るべし、これ即ち
人々自己の任なり、他人を委ねべからず
神儒佛の三道ハ、勸善懲惡の主意ハ
本づるは、無し、外教と雖も、その要

こふ歸に、故に何の教道を信するや、
問ふに、苟も帝國に忠順を誓ふ者は、
皆皇國の善良なる臣民なり、
國の強弱は人民の品行に係るとなれ
ば、今日萬國林立し、優勝劣敗の世に
在りては、人民各自に忠信を主とし、禮
義を重んじ、勤儉を務め、剛勇忍耐
の氣象を養ひ、尊貴なる品行を植
立せしむる要に、而して輕薄怠惰、詐偽驕
佚等の惡行を以て、深戒と爲さば、是れ皆

國却て衰弱あふむるものなり

永孚手書

教育大旨

謹テ述スルヲ我

天祖國ヲ開キ民ヲ撫^育シ皇統^系ノ萬世一君大壞

窮リ無シ我臣民ノ先祖^我

天祖ヲ奉戴シ世々^{我子孫ニ傳ヘ}無^{億兆ニ}以テ我

子孫ニ傳イ

君臣愛敬協和親睦^常下^米一^世中^は是

我國體ニシテ^{皇祖皇宗}道^由ヲ^奉起^ル所^の教^外

申^キ所^{ナリ}トシテ臣民ノ^{共ニ}順^テ

スル所ナリ。



中貞 春



天下ノ道五ツ。君臣ヲ第一トス。父子兄弟夫婦朋友之ヲ合セテ五倫ノ道トシ。天下臣民ノ共ニ由ル所ナリ。

君愛シ臣敬シ。君臣一體ニシテ義其間ニ行ハル。故ニ君臣義有リト云。父慈ニ子孝ニ。父子離レズ。親其間ニ行ハル。故ニ父子親アリト云。兄弟ノ順序アル。夫婦ノ和シテ淫セス。朋友ノ信ヲ以テ相交ハル。之ヲ五倫ノ要職ト為ス。五倫ノ要義ヲ行フニ三ツノ徳アリ。恭

我仁勇ノ三徳ナリ此ノ三徳ハ

天祖鏡璽劍ノ三器傳下才天下ニ示

ス才智仁勇ノ三徳トモ智ハ鏡ノ明

ノ如ク仁ハ璽ノ温潤シカ如ク勇ハ

劍ノ剛断ナルカ如キニ譬才此智仁勇

ノ三徳ヲ以テ五倫ノ要道ヲ行ヒ推シ

テ天下萬事ノ根本ト為スナリ。

智ハ明ラカニシテ分別スル事ニシテ徳トス。

善惡ヲ知リ長短ヲ知リ利害ヲ知リ。

善ヲ取リ長ヲ取リ利ヲ取リ才